



第42号

令和3年2月1日発行

福岡県立学校事務職員協会

会長の年頭挨拶

新年挨拶「コロナ二年、一陽来福」

令和二回目の新年を迎えました。昨年も協会活動に御協力いただきありがとうございました。今年の年末年始は昨年と打って変わり、日本列島をすっぽりと寒気が覆いました。まるで冷蔵庫の中にいるような寒さでしたが、皆さんはステイホームで静かな年末年始を過ごされましたか？

昨年10月に九州大会の引継ぎで沖縄県を訪問してきました。当初は8月末を予定していましたが、両県での感染拡大に伴い延期となりました。渡航の機会を窺い、感染がやや落ち着いた時期を見計らい2度目のチャレンジとなりました。福岡空港から那覇空港までのフライト時間は約90分。コロナ禍で定期便が減便された上、GoToトラベルの観光客で機内は満席でしたが、やはりこういう状況下、誰もがマスクをつけ、機内で渡された除菌ティッシュをお守りのように握りしめ、那覇空港までの時間を無言で過ごしていました。朝が早かった私もぼんやりと眼下に広がる東シナ海の青い海を窓越しに見つめていました。時折、遠くに船の白い航跡が見えました。ちょうどその時1200年前この海を渡っていた遣唐使船のことを思い出しました。当時は、羅針盤（方位磁針）、正確な海図やレーダーもありません。加えて外交関係、海賊、天候不順等に翻弄され、大陸との往復には2年を要しています。予め転覆・遭難を想定し正使と副使が別々の船に乗りこみ、波風が収まるのを待って、島伝いに命懸けで船出していった使節団の不安は如何ばかりだったのでしょうか。それでもこの危険な海を渡るために10年をかけ、6度目の挑戦で日本にたどりついた不撓不屈（ふとうふくつ）の僧侶がいます。唐僧の鑑真（かんじん）です。66歳になる高僧は天平勝宝の西暦753年11月、揚州で遣唐使船に密かに乗りこみ、阿児奈波嶋（沖縄本島）、益救嶋（屋久島）、鹿児島県坊主町に上陸し12月26日に大宰府に到着します。その3週間後、ついに奈良時代の都、平城京に聖武上皇ら市中の歓喜を持って迎えられました。この苦難の旅路は、作家井上靖の「天平の甞（いらか）」に描かれています。旅の途中で病を患い失明したこの「戒律」の高僧は、混沌としていた当時の仏教界に、秩序をもたらしました。それが「戒壇」と「授戒」です。出家する修行僧は「戒壇」にて3名の戒師から「具足戒」を受けねばなりません。ちなみに「戒（かい）」とは自主的に守らなければならないルール、「律」とは処罰によって守られるルールと言えます。仏教では一般的に信者には「五戒（不殺・不盗・不淫・不妄（嘘）・不飲（酒）」が課されますが、僧侶に授けられる「具足戒（ぐそくかい）」は、「五戒」はもちろんのこと、その内容は衣服や寝食にまで及び、男性僧の比丘（びく）で250戒、女性僧の比丘尼（びくに）にいたっては348戒にもなります。我が国の学校制度のルーツは、江戸時代の寺子屋ですが、その教師の大半が「師匠」と呼ばれた寺社の僧侶達であったことを考えると、「教師」の「師（僧侶）」という言葉の持つ意味がいかに重たいものかがわかります。その鑑真は大宰府滞在中に、筑紫戒壇院で我が国初の「授戒」を行っています。

さて無事に沖縄県協会への引継ぎは終わりましたが、年明け令和3年1月11日時点で世界のコロナ感染者数は累計9千万人を突破しました。同じ日、わが国の感染者数は累計29万人となりました。海外に比べ、国内感染者の伸びは緩やかですが、確実に感染は拡がっています。すでに感染力の強い変異種も確認されています。頼みの綱は有効なワクチン開発と、「自らが絶対に感染しない」「他人に絶対に移さない」という一人一人の行動です。後者は、まさに私達の「戒」（心の持ち方）にかかっているといても過言ではあ

りません。「換気による寒暖」「デスタンスによる孤独」「マスクの息苦しさ」はやはり不自由さや苦痛を伴います。「コロナ二年目」の令和三年は、昨年以上に厳しい年になると思われます。職場や家庭、あらゆる場面での「戒」が求められます。心折れそうな時はぜひ僧侶たちの「具足戒」を思い出してみてください。予測困難な時代と言われますが、予測が全く不可能なわけではありません。しっかりとした情報と強い意志があれば乗り越えられると思います。一日も早く陰（災難）が去り、陽（よき年）となりますようお願いいたします。

会長 佐伯 伸（福岡県立戸畑工業高等学校）

各地区活動報告

●北九州地区（会長 初山 文子）

北九州地区では、学校間の連携と事務職員の資質、職務遂行能力の向上を図ることを目的として活動しています。本年度は、下記の事業を実施しています。協会の活動に際しまして、今後も、会員の皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【実務研修会】

令和2年8月31日(月) 小倉リーセントホテル 14:25～

1. 講義① 「非常勤講師の報酬について」
講師 教育庁教育総務部財務課給与係 主任主事 宮崎 慎之介 氏
2. 講義② 「会計年度任用職員（非常勤講師を除く）の服務について」
講師 教育庁教育総務部総務企画課人事係 事務主査 村井 藏 氏

【地区別研修会】

令和2年9月18日(金) 小倉リーセントホテル 13:50～

1. 講演 「教育&学校現場のコンシェルジュ～フロントマン～を目指そう！」
講師 千草ホテル 企画部兼レストランチーフ 小野山 美緒 氏
“コンシェルジュ”への近道となるキーワードとして“対話”をあげられ、その“対話”を通し、人との“関係性”を作ること、ホスピタリティ（温かさ、思いやり）、しなやかマインド（何事にも失敗を恐れずに挑戦し、学び続ける努力を惜しまない心）の重要性を教えてくださいました。
2. 研修 「セルフワーク」
 1. 自分自身に「問う」トレーニング
 2. 課題解決について「問う」を「書く」トレーニング
 3. 課題解決に対する提案、シンプルな解決策を考えるトレーニングワーク

【新規採用事務職員等研修会】

（前期）新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

（後期）令和2年10月30日(金) 小倉リーセントホテル 13:30～

1. 研修① 「自己紹介・お気に入りの新聞記事でコミュニケーションを図ろう。」
2. 講話① 「新規採用職員に期待すること」
八幡工業高等学校 事務長 江頭 秀俊 氏
3. 講話② 「先輩職員による講話」
講師 行橋高等学校 主事 入江 百架 氏

小倉南高等学校 主事 久次 航生 氏
八幡工業高等学校 主事 板木 岳 氏

4. 研修②「まとめトーク」～研修を受けて感じたこと、考えたこと、日頃の思い、悩み～

【次世代を担う若者育成塾】

令和3年1月15日(金) 小倉リーセントホテル 13:20～ → 中止

1. 講演 「仕事を楽しむための一考察」

講師 嘉穂総合高等学校 事務長 白濱 克彦 氏
ヴァイオリニスト 岡田 香織 氏

2. 研修 「仕事を楽しむための一考察」

講師 グループ討議及び全体発表・総括

「講演を受け、自分を見つめ直す～次世代を担う若者としてやれること、やるべきこと～」

「“次世代を担う若者”の人間力育成」をテーマに主任主事・主事対象の研修を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりました。

【パソコン研究委員会】

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため集合研修は実施せず、業務の効率化に役立つ様々な表計算ワークシート（テンプレート）の紹介を行いました。

●福岡地区（会長 森部 一文）

福岡地区では、研修主任の設置等により充実した組織とし、会員相互の連絡・調整をとりながら、会員の資質の向上を図り学校教育の発展に寄与することを目的として、研究と研修を行っています。今年度はコロナ禍のなかで思うような取り組みができなかった面もありますが、財務会計の適正な処理を重視して、学校間の連携、職員間の連携を大切にしながら点検や情報交換等の取組を実施しました。

また、事務処理能力の向上と学校運営参画意識の向上を目指して、職員が一丸となって様々な業務を行うため、次の活動を行いました。

【実務研修会・なんでも研究委員会の共催】

令和3年1月27日(水) 福岡リーセントホテル 13:25～14:30 → 中止

講義 「Zoom 入門講座」

講師 株式会社 JS コーポレーション九州支社 高武 勇司 氏

コロナ禍で、会議等もオンラインで実施するケースが増えているなか、実際にタブレットを使用した研修を行うことで、今後に役立ててもらおう意味で企画していましたが、1月13日に福岡県に対して緊急事態宣言が発出されたため、やむなく研修会を中止としました。

【監査対策点検】

本年度の定期監査現地校（6校）に対して、8月～10月の間で点検者を選考して派遣依頼を行い、学校に出向き点検を実施した。また、採用3年目職員（義務制からの転入者を含む）は、研修の一環として、点検を行った。（延べ13名）

【初任者研修会】

採用1～3年目を対象とした研修会を開催し、市町村からの転入職員を含む16名が参加して実務研修等を実施しました。

〈第1回〉 令和2年8月27日(木) 福岡リーセントホテル 14:20～

- ① グループ討議「日常業務の問題点や困りごと、それらの対処法」
4つのグループに分かれて討議し、その内容を発表してもらった。
- ② 講義「学校事務職員の仕事1」
福岡高等聴覚特別支援学校 事務長 篠崎 晴美氏

〈第2回〉 令和3年1月25日(月) 福岡リーセントホテル 14:00～ → 延期(2月中旬)

- ① 2年目職員による学校PR(一人10分程度)
- ② 3年目職員による実務研究発表(一人30分程度)
- ③ 先輩職員講話須恵高等学校
参事補佐兼事務次長 小野 尊章氏
- ④ 講評(副会長)
1月13日に福岡県に対して緊急事態宣言が発出されたため、延期としました。
2月中旬に開催できるように調整を行い、できるかぎり発表の機会を設けたいと考えています。

【3ブロック別研修会】

定期監査等の状況について、指導のポイントやその対応など内容の確認・検討を行い、疑問点についての意見交換・解決策の研究を通して情報の共有や事務スキルの向上を目的にブロック別研修会を実施しました。

- ① 日時 令和2年12月18日(金) 東ブロック 場所 福岡リーセントホテル
- ② 日時 令和2年12月18日(金) 南ブロック 場所 福岡農業高等学校
- ③ 日時 令和2年12月22日(火) 西ブロック 場所 福岡高等聴覚特別支援学校
西ブロックは「コロナウイルス感染症対策」「会計年度任用職員制度」についても協議し情報交換を行いました。

【地区別研修会】

令和2年9月25日(金) 福岡リーセントホテル 13:15～17:00 参加者53名

1. 講話1 「人権・同和研修」

講師 福岡県教育庁教育振興部人権・同和教育課 指導班 指導主事 坂口 大樹氏

〔内容〕平成28年12月に施行された「部落差別の解消の推進に関する法律」及び、これを受けて平成31年3月1日に施行された「福岡県部落差別の解消の推進に関する条例」について、プロジェクターを使用し分かりやすく解説していただき、同和問題の解決に向けた取り組みについて理解を深めることができました。

2. 講話2 「飲酒運転の撲滅」

講師 福岡県警本部交通部交通企画課 警部 木嶋 俊輔氏

〔内容〕飲酒運転の撲滅についてご講話をいただきました。私たちに身近なビールや焼酎などのアルコール分解に必要な時間の目安について説明があり、DVDの上映と並行してVR体験がありました。「運転席」と「助手席」それぞれの視点から、運転手が飲酒運転した場合の状況を体験できるというものです。飲酒運転の恐ろしさを知るとともに、私たち一人一人が「飲酒運転は絶対にしない、させない、許さない」の意識を強く持つことが重要であるということを再認識しました。

最後に飲酒運転の110番通報訓練を行い終了しました。「飲酒運転では?と思ったらすみやかに110番通報をしてください。飲酒運転による悲惨な事故を未然に防ぐことに繋がります。」というお話がととても印象的でした。

3. 講話3 「ツボ・リンパマッサージでリフレッシュ！」

講師 健康運動指導士 倉地 摩紀子 氏

〔内容〕 筋肉の硬直が起きると血液循環が阻害され、酸素・栄養の不足により疲労物質の蓄積につながります。これがコリや痛みの発生の原因です。参加者のほとんどが、「体に何らかの不調がある」と回答しました。講話では、具体的なリンパマッサージやツボについて解説していただきながら、その場で実践を行いました。

研修会後のアンケートでは、「仕事中でも出来る内容なので、リフレッシュするのに有効だと思いました。」「座りっぱなしの職業なので、たまにツボを意識して押そうと思います。」「家でもやってみたいと思いました。」との回答が寄せられました。

● 筑後地区（会長 野田 さとみ）

筑後地区では、会員の資質向上と相互の懇親等を図るために、次の研修会・研究活動を行いました。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、8月下旬から支部活動を実施することができ、新たに定時制課程事務職員の研修会も企画しました。

また、今年度も監査対策の一環として筑後地区県立学校事務長会との共催で、支部単位で定期監査現地校の事前点検会議を実施しました。今後とも、会員の皆様の御支援と御協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

【地区別研修会】

令和2年8月28日(金) 教育庁北筑後教育事務所

1. 講話 ふくおか県政出前講座 「災害時の適切な避難行動～命を守るための自助・共助～」
講師 消防防災指導課 主事 黒木 祐佳 氏
2. 講話 「福岡県部落差別の解消の推進に関する条例」の概要
講師 教育庁教育振興部人権・同和教育課 指導主事 祖田 伸二 氏
3. 講習 職場の健康づくり支援事業 「腰痛・膝痛・肩こりに悩んでいませんか？」
講師 健康運動指導士 吉田 規和 氏

ふくおか県政出前講座から災害時の適切な行動についてわかりやすく講話していただき、人権・同和教育課からも本県教育行政の現状と課題を説明していただきました。その後、健康運動指導士による運動を行い、リフレッシュすることができました。

【実務研修会】

令和2年10月22日(木) 福岡県立久留米筑水高等学校

1. 講義 「会計年度任用職員に係る服務について」
講師 教育庁教育総務部総務企画課 人事係 事務主査 村井 藏 氏
2. 講義 「非常勤講師に係る報酬について」
講師 教育庁教育総務部財務課 給与係 主任主事 宮崎 慎之介 氏

今年度から始まった「会計年度任用職員制度」の服務及び給与について、講師をお招きして研修を行いました。担当者にとっては初めての説明会となり、大変有意義な研修となりました。

【新規採用事務職員等研修会】

第1回 令和2年10月13日(火) 福岡県立八女工業高等学校

①「学校事務実務講座Ⅰ」～学校事務全般～

講師 福岡県立柳河特別支援学校 事務長 金納 芳典 氏

②「学校事務実務講座II」～学校事務基礎～

講師 福岡県立八女工業高等学校 参事補佐兼事務次長 山口 秋夫 氏

第2回 令和2年11月20日(金) 福岡県立八女高等学校

パソコン演習 パソコン活用委員会

- ① Word 編
- ② Excel 編
- ③ 電卓の便利な機能の紹介

第3回 令和3年1月13日(水) 福岡県立八女工業高等学校 (中止)

- ①「体験発表」
新規採用職員及び2年目職員等
- ②「グループ討議」
主査会代表者を助言者とした討議

第1回目は、学校事務全般に係る実務や基礎について講義を行いました。

第2回目は、パソコン活用委員さんを講師として「Word 編」「Excel 編」「電卓機能」について研修を実施しました。

第3回目は、新規採用職員及び2年目職員等による1年間と2年間を振り返っての「体験発表」と主査会代表者を助言者とする「グループ討議」の予定でしたが、コロナウイルス感染拡大により中止になりました。

【定時制課程事務職員研修会】

第1回 令和2年10月28日(水) 福岡県立嘉穂東高等学校

筑豊地区定時制課程事務職員研修会に参加「グループ討議」

就学支援金・奨学給付金や学校給食事務等について情報交換

第2回 令和2年12月14日(月) 福岡県立明善高等学校

入試業務、合格者説明会や校納金滞納者対応等について情報交換

筑豊地区で開催されている定時制課程事務職員研修会に、今年度は筑後地区も参加させていただきグループ討議を行いました。2回目は筑後地区のみで情報交換を行い、交流を深めました。

【監査事前点検会議】

本年度は、大牟田支部を除く4支部（両筑、久留米、八女、山三）ごとに、定期監査現地校に出向き相互に事前点検を行いました。

【パソコン研究委員会】

パソコン委員会では、新たなパソコンスキルの発見に尽力し、その成果をメルマガという形で筑後地区の職員の皆様にお届けしております。今年度は、2月までにメルマガにて情報をお届けいたします。内容の一部をご紹介します。

「行コミメール履歴」こちらのエクセルを使うと、毎日来るメールの件名をクリック一つで保存することができます。文書を担当していると、先生から度々「〇〇からメールが来てないか？」という質問が来ますが、このエクセルで日頃メール履歴を記録しておけば、即座に返答ができます。

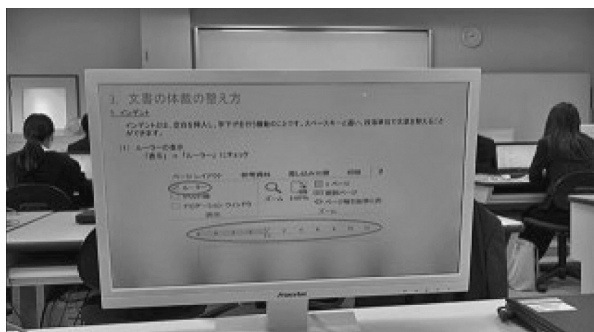
また、共有フォルダにメールを保存していれば、メールデータの検索もしやすくなります。ほかにも行コミメール印刷のちょっとした時短テクニックなどをご紹介します予定になっておりますのでメルマガの配信をお待ちください。

11月には新規採用者研修会でWordとExcelの研修を行いました。多くの演習を織り交ぜ、新規採用職員の方々に直にExcel等を操作してもらいながら実施し、受講後に実施したアンケートでは有意義

だったとの感想をいただくことができました。今回の研修が新規採用職員の皆様の業務の助けになることを願っております。

パソコン委員会が今までに作成した Excel 等のデータを行コミフォルダに保存しておりますので、お時間があるときに覗いていただけたら幸いです。保存場所は次のとおりです。お役に立てるものが眠っているかもしれません。

K:\15 教育庁\③学校\998 県立学校事務職員協会\03 筑後地区\06:パソコン研究委員会\筑後地区パソ研 テンプレート倉庫



● 筑豊地区 (会長 佐々木 志津子)

筑豊地区は 16 校の学校で構成されており、学校教育効果の増進に寄与することを目的として、会員の資質向上を図るための研究、研修を行っています。

1. 地区別研修会

令和 2 年 9 月 11 日(金) イヅカコミュニティセンターにて開催

(1) 講演「人権・同和教育について」

人権・同和教育課指導主事 田丸 めぐみ 氏

(2) 研修テーマ「ヒューマンエラーを防ぐ」

ヒューマンエラー防止研修 (株)インソース 清水 賢治 氏

ヒューマンエラーを防ぐための具体的な手法が紹介されました。

まずはミスについて考え、その原因を探ります。列挙したミスの要因をミスの発生度とミスが与える影響から必要性を考え、対策すべきものを 3 つぐらいに絞ります。そうして絞った 3 案を効果と難易度やコストの観点から評価し、決定した対策を実行することといった内容でした。

3 部構成の講義でしたが、個人やグループでのワークを交え、あっという間の 3 時間でした。



2. 会計実務研修会

①実務研修 1 「令和元年度定期監査について」

財務課予算係

藤田 元志 氏

②実務研修 2 「会計年度任用職員の休暇制度について」

教職員課福利・職員係

山口 議雄 氏

3. 新規採用職員等研修会

(1) 第 1 回 令和 2 年 8 月 26 日(水) 穂高等学校 龍王記念館にて開催

①新規採用職員等スピーチ

②グループ討議 ※その後、会計実務研修と合同実施

(2) 第 2 回 令和 2 年 12 月 8 日(火) たがわ情報センターにて開催

パソコン研修 (午前:エクセル初級/午後:エクセル中～上級)

(株)クリエイティブジャパン 岡本 小百合 氏

(3) 第3回 令和3年1月28日(木) 嘉穂総合高校よりリモートで開催

- ①実務研修1 「勤務時間管理システムについて」 教職員課福利・職員係 今畑 佑一朗氏
②実務研修2 「庁舎等維持負担金について」 施設課財産・情報基盤係 曾根 三菜子氏

4. 定時制課程事務職員研修会

(1) 第1回 令和2年10月28日(水) 嘉穂東高等学校にて開催

- ①就学支援金・給付金について
②定時制学校給食費について

(2) 第2回 令和2年12月25日(金) 東鷹高等学校にて開催

- ①定時制事務全般について

例年は年4回開催し、筑豊地区定時制課程の事務職員が集まり、定時制事務の夜間給食や校納金について討議、意見交換を行っています。

第1回では、定時制事務職員のほか、前任者や筑後地区からの参加もあり、総勢16名で活発な意見を交わし、有意義な研修会となりました。

5. 業務担当別研修会

令和3年1月28日(木) 嘉穂総合高校よりリモートで開催

昨年度から新たに始めた担当者同士での情報交換を目的とした研修会です。今年度は人事給与事務担当と収入事務担当を対象に新規採用職員等研修会と合同で、ZOOMを使いリモートで実施しました。



各研究部報告

●研究改善委員会 (委員長 佐伯 伸)

1. 令和2年度の活動

今年度組織を改編し、専門委員会の1つであった旧事務改善委員会と4地区協会で活動していた旧研究委員会を統合しました。組織を一本化することで、重複研究のムダをなくし、全県調査に基づく会員全員に有益かつタイムリーな研究報告が期待できます。今後は事務改善のための会員全体に係る喫緊な課題の研究と九州大会での「2年に1度の研究発表」を担当します。

昨年まで旧事務改善委員会が行ってきた業務関連の通知文のPDF化とデジタルアーカイブズ(古文書館)は、情報委員会の協力で2年度末に一定の整理が行われました。デジタルアーカイブズは、私たちの日々の業務上の根拠として必要不可欠なものですが、PDFファイルの容量、廃止文書の整理等、業務上の課題も多く、共有フォルダのどこに格納すべきか、保存と整理が課題となります。今後も他の専門委員会と連携しながら研究を続けていきます。

今年の研究改善委員会は、統一テーマではなく、個人やグループで研究テーマを決めて、全庁共有フォルダを活用しながら研究を進めています。比較的進んでいるものは、多岐でわかりにくいと言われる「会計任用職員制度の一覧表」です。研究委員以外の会員を巻き込みながら整理を進めています。年度

内には各所属に配布する予定です。

また今年6月の沖縄大会での研究発表は、九州発表県とのテーマに関する連絡調整をすでに済ませ、タイムリーな「新型コロナ感染症にかかる学校対応」という内容での発表準備を進めています。新型コロナ感染状況が日々変化する中、「コロナ元年」である令和2年12月までの感染時の対応を整理し、いまだ感染拡大の中、今後予想される生徒や教職員の感染発生時の心の準備にあてていただこうと考えています。まだまだ配慮を要するデリケートなテーマですが、「(心の) 備えあれば憂いなし」。県内、九州内の学校に止まらず全国のすべての学校(小・中・特別支援・専門学校等)にお役に立つことができないかとの思いで取り組んでいます。皆さんの学校にも調査協力をお願いすることがあるかもしれませんが、その際はご協力のほどよろしく申し上げます。

2. 活動状況

- (1) 予備調査 令和2年8月12日(水) 行コミメールと共有フォルダ
- (2) 第1回 令和2年10月30日(金) リモート会議 (Zoom)
オリエンテーション
- (3) 第2回 令和2年11月20日(金) 会場：福岡リーセントホテル
研究分担確認及びスケジュール リモート会議検証 沖縄大会研究発表の内容協議
- (4) 第3回 令和2年12月23日(水) 会場：鞍手竜徳高校
沖縄大会研究発表の内容協議
- (5) 第4回 令和3年1月13日(水) 会場：会場：鞍手竜徳高校
沖縄大会研究発表の内容協議
- (6) 第5回 令和3年2月 会場：鞍手竜徳高校 (予定)
沖縄大会研究発表の内容協議
- (7) 第6回 令和3年3月 会場：鞍手竜徳高校 (予定)
沖縄大会研究発表の内容協議

● 事務提要委員会 (委員長 吉田 明広)

事務提要委員会は、今年度も提要4編の追録原稿の作成を行っております。なお発行については、3年度当初の発行を予定しております。

6月23日、第1回県委員会を修猷館高校で行い、提要4編の地区別担当箇所、及び就学支援金等マニュアル追録の方針決定、役割分担を決め、活動を始めました。

「提要4編」については、7月・8月、各地区別に精力的に原稿作りに取り組みました。

コロナ感染症対策を講じながら各地区で作業を行い、8月24日、香椎工業高校で4地区が原稿を持ち寄り集約作業を行い、共有フォルダを活用して追録原稿の再点検を行いました。9月30日、財務課予算係へ追録原稿のチェックを依頼し、財務課予算係から、教育庁各主管課へチェック依頼を行っていただき、関係各課のご理解、ご協力のもと、1月中にチェック済み追録原稿が戻り、追録原稿再チェック作業を行い、その後、業者に追録原稿を送り、校正作業を経て本追録の発行となります。

「就学支援金等マニュアル」については、e-shien や S-Gate の導入等により現在の状況でマニュアルを作成しても活用が見込めないため、今年度までは更新を休止することにしました。そのため、K:\15教育庁\③学校\998 県立学校事務職員協会\22 就学支援金等マニュアル\令和2年度就学支援金・奨学給付金に係る資料(県立学校)に財務課からきたメールや文書を掲載することにしました。ご活用ください。

「文書分類表」の更新については、3月初旬には、行コミメールで各学校に配信できるようにいたします。

また、事務提要委員会では、会員の皆様のご意見・ご要望等を寄せていただくため、「め安箱」を協会のスマートページに設置しております。(スマートページ> G 教育庁のフォルダにあります。)皆様、大

いにご活用ください。

「事務提要ライブラリー版」については、業者からの追録が出来き次第、更新出来るよう頑張っていく予定です。

さらに、委員は多忙な本務の合間を縫って、多くは自分の時間を割いて活動しており各地区の地区委員の皆様にも鋭意ご協力をいただいております。加えて、事務提要委員会の編集等の活動に際しましてご協力いただきました関係機関や事務提要委員の皆様には大変感謝しております。

最後に、会員の皆様におかれましては、今後とも事務提要委員会へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

●情報委員会（委員長 稲田 諭）

今年度は、世間のご多分に漏れずコロナ禍の中コミュニケーションの在り方を模索する1年となりました。2月からの学校休業に伴い教育現場ではzoom、classi (Benesse)、teams (Microsoft)、google classroom 等ネットのツールを活用した教育活動・コミュニケーションの工夫・実践が進みました。一方、私たち福岡県立学校事務の現場ではやはり「行コミパソコンで仕事をする」ことがスタンダードであり、行コミの環境は①端末はカメラ・マイクを備えたコミュニケーションツールではない②通信回線が非常に細い、ということから、ネットを介したコミュニケーションには適していないと言わざるを得ません。かたや行コミの世界から一歩踏み出すとすると、行コミ環境とデータの行き来一つからままならず、例えば情報政策課によりWeb会議システムが導入され端末が各所属に配布されましたが、積極的な活用の方は遠いように思われます（本稿入稿時点）。私たちの業界は、コロナ禍がもたらしたプラスの波にすっかり乗り遅れてしまっていると感じられます。

そのような状況の中、10月に行われた「県立学校事務長研修会」では県教育センター・福岡高校・嘉穂総合高校の3施設及び東京の講師を、zoomを用いて結び実施された、とのこと。「もちろん色々な方の力を借りて」とのことですが、やり方次第で「with コロナ時代の会議」等が実現できるという実例を事務職員協会の皆様にお伝えしました。

情報委員会では、9月に行コミパソコン上で、これも情報政策課が用意したツールである「Chat & Messenger」を用い、チャット（文字のみのリアルタイムのやり取り）による会議を試みました。コミュニケーションツールとしては、合意形成の難しさを感じました。対面での会議であれば、発言がなくても頷きや表情などで合意形成が図られていきますが、画面のテキストだけではそのような情報がいないため「それでは皆さんこれでよろしいですか」（一同頷き）という風な結論出しが困難でした。その会議は「短時間で終わる」も目的の一つだったので「時間限定」「参加者全員画面の前」前提で行ったのが、難しい印象の原因の一つになったのかもしれませんが。行コミメール等と違って、ソフトさえ常に立ち上げておけば誰かが発言したら画面にポップアップが出ますので、あえて時間を縛らない「ながら会議」が適しているかもしれません。また、TwitterやLINEのようなテキストベースのリアルタイムコミュニケーションに慣れた層に馴染みやすいかもしれません。発言者が多ければタイムラインが流れていきます。発言の積極性やスキルがある程度平準なメンバーであれば、十分役立つツールではないかと思えます。

昨年度は「成果物を残す」ことを目標に「通知文アーカイブ化（通知文書の行コミライブラリーへの収容と、インデックス（事務提要の目次に準拠したスマートページ）の作成）」をプロジェクト的に行ったところですが、①通知文書収集の主体であった（旧）事務改善委員会が研究委員会改組により研究発表へ活動の軸足を移した②スマートページの仕様により原始的なhtmlを手打ちせざるを得ず、技術的・手間的に負担が過大、であることから、進めずにいます。これらへの有効な策は見つかっていませんが、前述のチャット会議において「過度な負担をかけず情報を集積する方法として、所属代表で収受したメールアドレスを部共有のフォルダに（分野別に）保存しては？」というアイデアが出たので、さっそく会計年度任用職員関係に限って保存しようとしたところ、今度は部共有フォルダ（のうち「教育庁」割り当て領域）が容量の限界に達するという事態が生じました。※このメールアドレス自体（合計73.8MB）の

データ量が特に過大だったわけではなく、これを保存しようとしたときに気付いた、というものです。(R3.1.13 現在の部共有フォルダ使用状況は「部共有 (K:)」全体 1.17TB のうち「教育庁」割り当て 63.0GB (これが 99%以上使用中、今回保存しようとしたデータは最後の 0.1%ほど)、ちなみに「教育庁」63.0GB のうち「998 県立学校事務職員協会」では 12.8GB 使用中)

様々な障壁はありますが、今後も活動の柱として、行政コミュニケーションシステムを主たる場として自分たちでより良いリファレンスを作り上げていく継続的な営み、県内外に対し情報発信の場として設けている協会ホームページのアップデートを行っていくところです。

情報・パソコン関係の研修については各地区の委員会(部会)主体で行っていますが、受講対象である事務職員個々の情報スキルにかなりの差があり、多彩なニーズに対応した集合研修の企画が困難であることから「(受講者の多くに) 実のある研修」のハードルが高く、実施に二の足を踏んでいる地区があるのが現実です。今年度は特に集合研修が困難であることから、お役立ちコンテンツの紹介をもって研修に代えさせていただく地区もあります。

会員の皆さまには、コンテンツやパソコン研修などへのご意見ご提案をいただき、それらを受け皆さんに還元できる研究を進めていきたいと思っています。今後ともご理解ご協力のほどよろしくお願ひします。

県立学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業について

各学校にアンケートへの協力をお願いしておりました。その結果、半数近くの学校から御回答をいただきました。御協力ありがとうございました。

各校の支出例・感染対策例を一部紹介させていただきます。



【その他需用費】

- キーボードカバー …… 共用しているパソコン用 捨てタイプで感染予防!
- 紫外線殺菌ランプ …… 紫外線 (UV) でコロナウイルスを不活化!
- 空気環境測定器 …… 室内の空気状況を測定 きちんと換気ができているか、チェック出来ます!

★多くの学校で購入されているもの★

マスク、アルコール消毒液、アルコールディスペンサー、パーテーション、扇風機、空気清浄機、加湿器、非接触型体温計、ハンズフリー拡声器、実習用具、衛生用品 etc.

【通信運搬費】

- 切手、レターパック代 …… 生徒へ課題・教材等の送付
- 職員室電話増設 …… 家庭との連絡体制の強化等



【その他役務費】

- 保健室シーツ等クリーニング …… 衛生管理のため
- 健診器具滅菌処理 …… 衛生管理のため

【委託料】

- エアコンフィルター洗浄業務委託 …… 換気機能を常時使用しているため
- 撮影動画配信業務委託 …… 行事の様子を撮影し、各教室へライブ配信

【使用料及び賃借料】

- 教師用デジタル教科書購入 …………… 感染状況に応じた教育活動を行うため
- 健診器具レンタル …………… 使い回しによる感染を防ぐため
- バス借り上げ(行事時の増便) …………… 車内での密を回避

【備品購入費】

- イオンクラスター除菌脱臭装置
 - オゾン発生装置
 - 次亜塩素酸生成器
- イオンクラスター、オゾン、次亜塩素酸のいずれもコロナウイルスを不活化させています！

★多くの学校で購入されているもの★

サーモグラフィカメラ、サーマルカメラ、空気清浄機、加湿器、ウォータークーラー、プロジェクター、電子黒板、スポットクーラー、実習用具 etc.



★★★リモート用機器特集★★★

パソコン、Webカメラ、タブレットといったリモート用機器の購入も多数ありました。

↓その他は下記のとおり↓

- プロンプター …………… 首相も使用した“電子原稿”です！
(備品) …………… リモート時に幅広く活用されています。
- Apple TV …………… iPadの画面をプロジェクタで投影・テレビモニターへの表示を可能にします。
(消耗品)



【職員室・事務室内での感染対策】

- 常時マスク着用
- こまめな手洗い・消毒
- 各職員の間隔にパーテーション設置
- 窓口に体温計・アルコール消毒・ビニールシート設置
- 接触部分に銅シート貼付
- 空気清浄機・加湿器の設置
- 定期的な換気・エアコン換気機能の使用
- 二酸化塩素発生剤で空間除菌

【教室内での感染対策】

- マスク・フェイスシールドの着用
- 体温計・アルコール消毒液を常備
- 換気の徹底(常時5cm窓開放や授業の中間に2分間窓開放といったルールの設定)
- 空気清浄機・加湿器・加湿用濡れタオルの設置
- 職員による除菌・消毒作業
- ハンズフリー拡声器の使用
- 教卓にパーテーションを設置
- 生徒机に段ボール製シールドを設置

【食堂内での感染対策】

- 食堂の使用を制限・不可としている。(学年ごとに利用時間の設定等)
- 食事前の手洗い・消毒の徹底
- 席の間引き・対面にならない座席配置
- 窓扉開放・工場扇等による常時換気
- カウンター・座席へのアクリル板設置
- ガイドポール・ベルトパーテーションを設置し、行列時の密を回避
- 利用通路の一方通行化

↓ここからは福岡中央高校が実際に取り組んでいる対策です。↓

わたしの学校、こんな対策しています!! ~福岡中央高校編~

(1) マスク着用

登校中、公共交通機関で登校する場合には必ずマスクを着用し、自転車などの場合でも学校到着時には必ずマスクを着用するよう指導しています。また、昼食時もマスクを外した状態での会話を控えるよう呼びかけています。

(2) 手指消毒の設置

各教室前及び来客用玄関、職員玄関等に消毒液を設置しています。入室前の手洗いや手指消毒を必ず行うよう指導しています。

(3) 換気

授業終了後に教室及び廊下の窓を5分間広く開けるよう徹底しています。また、授業中の冷暖房稼働時にも教室4箇所（両側前後の上窓）及び廊下2箇所を10cm程度開け、常時換気を行っています。

(4) サーキュレーター^①の設置

部屋の空気を循環させ、効率的に換気を行うことを目的として、サーキュレーター（図1）を75台購入しました。各教室及び特別教室に2台、対角に設置しています。その他、エアコン設置場所（職員室、事務室、保健室等）にも設置しています。



図1

(5) 透明アクリル板の購入

主に三者面談時に飛沫感染防止策として使用しています。担任と生徒・保護者の間に透明アクリル板を立て、面談を行っています。

(6) 簡易テーブル及び椅子の購入

室内の密を避けるため、主に来客対応のため廊下に設置しました（図2）。簡単な打ち合わせ等はこちらで行っています。



図2

(7) オンライン環境整備工事

(6)同様、室内の密を避けるため、講堂で行われる集会や会議、授業を各教室へ配信できるようオンライン環境の整備を行いました。

福岡中央高校の皆様、御寄稿いただきありがとうございました！

福岡県でも先日、緊急事態宣言が発令されました。

ひとりひとりの行動・意識が大切です。

引き続き、コロナ感染予防の徹底に努めましょう!!



会計事務について

コロナ対策同様、各学校にアンケートへの協力をお願いしておりました。

御回答いただいた皆様、ありがとうございました。

回答をまとめた一覧表を下記フォルダに保存しています。

☆一覧表保存先☆

部共有 > 15 教育庁 > ③学校 > 998 県立学校事務職員協会 > 28 会計事務アンケート

参考になる情報ばかりです！ぜひ御覧ください!!

「^し至^{そく}足^{ゆう}優^{ゆう}游」

「退職後の楽しみ－読書と旅行－」

古賀 洋 (元福岡県立八女農業高等学校事務長)

平成 26 年 3 月 31 日退職

令和 2 年は新型コロナに始まり、そして終わりました。令和 2 年 1 月東京に行った際、アメ横で見た中国人観光客の黒いマスクを奇異に感じたことを思い出します。この時は東北の雪景色を見に行ったのですが、記録的な暖冬のため残念な結果に終わりました。その後旅行には行けずにいます。

平成 26 年 4 月 1 日からサンデー毎日の状態になりましたが、決して暇をもてあますということはありませんでした。日々の楽しみは読書。市立図書館に毎週行き、好きなミステリー小説を借りてきてひたすら読みまくったものです。それともう一つの楽しみが旅行に行くことです。在職中は、夏休みか冬休みくらいしか旅行に行くことはできませんでした。しかし、退職後は好きな時期に好きな場所へ、人が少なく安い時期に行くことが可能になりました。一人で計画を練り、インターネットで飛行機とホテルを予約する。この段階が一番楽しい頃です。我が家では夫婦二人とも旅行が好きですが、興味・関心や旅行スタイルに違いがあり、それぞれ一人で好きな所に行っています。以下これは知っていれば便利だというものや私の印象に残っている旅行先を紹介します。

私の旅行関係の会員資格は、JR の列車が三割引きになる「ジパング倶楽部」と JR 東日本の「大人の休日倶楽部」です。その他に JR 西日本や JR 九州のネット限定切符を利用します。飛行機は基本的にスカイマークの早期予約です。ホテルもネットで予約します。できるだけ経費を節約し、旅行日数や回数を増やすことにしています。中でも最もお得なのが大人の休日倶楽部です。年に 3 回旅行閑散期に 4 日間 JR 東日本の列車に乗り放題という企画（令和 3 年 1 月は 15, 270 円です）があります。私はまず東京に行き、次の日から 4 日間かけて東北をまわる旅行、特に秋田と青森間の五能線が大好きで異なる季節に行っています。また、東北の夏祭りで盛岡のさんさ踊りや五所川原の立ちねぶたが特におすすめです。2 年前の 8 月、2 月からホテルの予約を取り始め念願の立ちねぶたを見ることができました。

次は京都に行ったときのことについてです。春の桜のシーズンが終る頃に 1 週間京都に行きました。このときはホテルを取らずに、ウィークリーマンションを借りました。費用としてはホテルの 3 分の 1 くらいですんだと思います。それに部屋の鍵は持っているので、いつでも出入りができます。冷蔵庫や洗濯機等生活に必要なものはほとんどあり、ホテルよりも快適に過ごすことができました。京都では、1 日単位で散策するところを決め、清水寺周辺、銀閣寺周辺、嵐山周辺と 1 日中歩き回りました。

次に印象に残っている所は、しまなみ海道です。尾道から今治まで瀬戸内海に浮かぶ 6 つの島を渡る全長 70km のサイクリングロードです。島と島は高速道路で結ばれていますが、その橋を並走して自転車が走れるようになっています。私は、尾道で原付バイクをレンタルし今治までを 8 時間で往復しました。最初はレンタサイクルを考えていましたが、橋への昇降りがきついことが分かりバイクにしました。サイクリストが橋を登っていくのを見ていると、よくぞバイクにしたと自分をほめました。レンタバイクを返す時間が迫り、とにかく尾道に帰るために必死でしたが、橋の上からの景色はとても素晴らしいものでした。

今回は、今治で1泊しゆっくりと景色を堪能したいと思っています。

基本的に私の旅は個人旅行です。2度だけ旅行会社のツアーを利用しました。1つは黒部ダム、もう一つは札幌雪祭りです。黒部ダムへの富山から長野へは公共交通機関の有効利用が難しく、効率的にまわるためにはツアーが便利でした。札幌雪祭りは直前に思い立ち飛行機とホテルがとれませんでした。今はネットでいろいろと調べることができます。計画時のわくわくする楽しさ。見知らぬ街での夜の繁華街の散策。どの居酒屋に入ろうか、と心弾ませながら歩くとき。郷土料理と地酒の楽しみ。最後のわくわくは、帰りの列車の中で次は何処にいこうか、それを考えているときです。仕事をお持ちの皆さんには、いろいろと制約があるでしょう。でもいつかこのワクワクを楽しんでください。

